

河瀬秀治 いせしげ 官僚、實業家。天保十年十一月十五日丹後國加佐郡
田邊城下生れ、昭和二年四月一日歿（八元一〇六）。舊姓牛窪、幼名
猪子二郎、外衛。號雲影。舊宮津藩士。維新後新政府に入り、入間・
熊谷等の縣令、内務大臣兼勸業寮權頭、更に内務・大藏・農商務の大
書記官と歴任後下野し、實業界で活動。益田孝等と『中外物價新報』
を創刊した他、明治二十年聖徳太子の理想を旨とした教化・社會福祉
專業團體上宮教會を創設、大正十一年會長となる。一方日本美術の旅
興への努力がた。

編書 『佛教の新研究』（上宮教會編、大正七年十一月）『千四百大阪屋
號書店』。齋藤一曉著 『河瀬秀治先生傳』（昭和十六年四月）『十八日
上宮教會』、高木武二郎編 『上宮教會八十年史』（昭和五十一年十一
月一日上宮教會）等刊。

